

平成 29 年 3 月
評価事業部国際課

AQAN (ASEAN 質保証ネットワーク) ASEAN 質保証枠組 (AQAF) について

ASEAN 質保証枠組 (ASEAN Quality Assurance Framework: AQAF) は、ASEAN 地域における教育の質を向上させ、地域内外で学生・労働者・専門家の流動性を高めることを目的として、2013 年に ASEAN 質保証ネットワーク (AQAN) によって開発された。AQAF は、①外部質保証機関、②外部質保証、③内部質保証、④国の資格枠組の 4 領域に大別され、各領域に 10 の原則が示されている。ASEAN 地域の多様な高等教育制度、文化、伝統の調和に向けて、AQAF は質保証機関や高等教育機関の共通の参照点としての役割を果たす。

● 目的

AQAF の主たる目的は、ASEAN 加盟国において、内部・外部質保証の優良事例の普及と、全国資格枠組の確立・実施を促進することにより、ASEAN 地域における教育の質を向上させ、地域内外で学生・労働者・専門家の流動性（モビリティ）を高めることである。

各国の教育制度は、その国特有の背景の下で発展し、文化的・歴史的影響を受けている。AQAF は、各国の基本的な価値観や伝統を損なうことなく、様々な政治的、法的、文化的状況に適応できる内容となっている。また、各国の質保証機関および高等教育機関が自らを改善し、地域内の他機関との協調を図ることも可能とする。なお、AQAF は、一般的な原則や優良事例を提示するにとどまり、規定的な内容ではない。

● 背景

AQAN は、2011 年に AQAF の開発プロジェクトを立ち上げ、7 機関[※]で構成する作業部会を設置した。2013 年に AQAN 役員会にて AQAF が承認された。承認当初は「AQAFHE」(ASEAN Quality Assurance Framework for Higher Education) という名称であったが、2014 年に現在の「AQAF」に短く改称された。

※AQAF 開発作業部会メンバー機関：マレーシア資格機構 (MQA)、フィリピン学校・カレッジ・大学アカレディテーション協会 (PAASCU)、タイ全国教育水準・質評価局 (ONESQA)、ベトナム教育訓練省教育試験・アカレディテーション局 (GDETA)、ブルネイ国家アカレディテーション協議会 (BDNAC)、東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター (SEAMEO RIHED)、ASEAN 大学連合 (AUN)

● 各領域 (4 領域) の趣旨

1. 外部質保証機関の原則 (Principles of External Quality Assurance Agency (EQAA))

外部質保証機関は各国で教育の質を維持するための中心的機関であり、学生や様々な利害関係者の利益に主眼を置いている。本原則は、外部質保証機関が地域全体で共有できる価値観や優良事例を確立するための重要な第一段階であり、利害関係者に対して外部質保証機関の専門性・説明責任・健全性を確保する。

2. 外部質保証の原則—基準とプロセス (Principles of External Quality Assurance - Standards and Processes)

外部質保証プロセスは、質保証機関の中心的な活動である。このプロセスでは、学生、雇用主、社会の利益が考慮される。本原則は、質保証機関が評価基準を開発するまでの体系的なアプローチを説明するものであり、質保証機関自らの目的・目標の達成につながるものである。

3. 内部質保証の原則 (Principles of Internal Quality Assurance of Higher Education Institutions)

高等教育機関が質に対する第一義的な責任を負うことは、高等教育質保証の基本原則である。本原則は、利害関係者に対して高等教育の質を開発、維持、向上、保証するための高等教育機関の役割を示している。また、質保証プロセスの指針を提供しており、これにより高等教育機関は説明責任を果たし、学生や社会等の利害関係者の利益を保護する。

4. 国の資格枠組の原則 (Principles of National Qualifications Framework)

国の資格枠組は ASEAN 諸国を含む多くの国で、教育・訓練改革および資格制度のための主要な手段となっている。資格枠組は、統一的・包括的な枠組みもあれば、分野別の枠組みもある。学習成果に重点が置かれているのは、様々な方法、とりわけ教育と学習、研究、他の活動を通じて効果的な学習を実現するためである。

学習経路の柔軟化やインフォーマル及びノンフォーマル学習の制度的な認証によって、生涯学習政策と国の資格枠組みの関係がますます深まっている。資格枠組は、学習や進学上の障壁を取り払い、ASEAN 地域内外の学生、労働者、専門家の流動性の促進が期待されている。また、ASEAN 加盟国は自国の資格枠組を ASEAN 地域全体の枠組みや国際的な優良事例に合わせることが奨励されている。

● 参照プロセス

AQAN では、各国の質保証システムが AQAF にどの程度整合しているか、メンバー機関を対象としたレビューが計画されている。AQAN 執行委員会により組織される技術諮問委員会 (AQAN Technical Advisory Committee : ATAC) が、AQAF を参照する際の助言や当該レビューの実施を担う。レビューのプロセスは以下のとおりとなっている。

1. AQAN メンバーが ATAC に対して、レビューを受ける意思を表明。
2. メンバー機関が、自機関の評価活動等に関して AQAF との整合性をまとめた自己評価書を ATAC に提出。
3. ATAC が自己評価書に基づきレビューを行う。当該機関への訪問調査やフォローアップ調査が行われる場合もある。ATAC が AQAN 執行委員会に報告書を提出し、最終審議が行われる。

なお、資格枠組がない国や、メンバー機関が資格枠組を直接所管していない場合は、本原則を除外した 3 つの原則を対象にレビューが行われる。

●各領域（4領域）の原則一覧

※各原則には、説明文と原則の順守を示すための根拠情報が例示されている。詳細は下記出典を参照されたい。

第1部：外部質保証機関

- ASEAN 諸国の外部質保証機関は使命と共有された目的を有している。
- 外部質保証機関は明確な設立の法的根拠を有し、自国の権限ある公的機関によって正式に認可・信任を受けている。
- 外部質保証機関は自らの活動に関して自律的責任を持ち、意思決定プロセスと判断は不当な干渉を受けない。
- 外部質保証機関には、役員会メンバーの任命・選定のための基準と透明性のある仕組みがある。
- 外部質保証機関の方針・運営は適切なガバナンス、透明性、説明責任に基づいている。
- 外部質保証機関は、内部の継続的な改善制度の一環として、質保証の動向やイノベーションを常に把握している。
- 外部質保証機関は十分で適切な資源を備えている。
- 外部質保証機関は国内外の主要な利害関係者と連携を図っている。
- 外部質保証機関は自らの活動すべてを管理・監督・評価するための信頼ある仕組みを備えている。
- 外部質保証機関は組織の方針・手続き・基準・自己評価の結果を常に公表している。

第2部：外部質保証の基準とプロセス

- 外部質保証プロセスでは、学生と社会の利益が最優先されるべきである。
- 評価基準は、国際的な優良事例に見合い、高等教育機関の内部質保証と関連性がなければならない。
- 評価基準の開発には、現状のニーズと要望を満たすために利害関係者を参加させなければならない。
- 評価基準は一般に公開され、一貫して適用され、文化的な多様性を十分に考慮しなければならない。
- 評価プロセスには通常、対象プログラムまたは機関の自己評価書の提出、訪問調査、フィードバック、評価結果の決定、フォローアップが含まれる。
- 評価は、客観的で公正で透明性があり、適切な期間内に実施されなければならない。
- 外部質保証機関は評価者育成のために適切な研修を定期的に実施する。
- 外部質保証機関は評価者としての責任と倫理的行動を保証する。
- 質保証活動の継続的な自己改善を促すために、当該活動の評価が周期的に行われている。
- 異議申立ての仕組みが確立され、誰もが活用できるようになっている。

第3部：高等教育機関の内部質保証

- 高等教育機関が質に関する第一義的な責任を有している。
- 質保証が機関の自律性と公的な説明責任の均衡を支えている。
- 質保証は教員、学生、他の利害関係者の参画を得て、すべてのレベルで参加型で協力的に行われている。
- 質文化が教育、学習、研究、支援、管理運営等の機関のあらゆる活動を支えている。
- 責任が明確に規定され、体系的に機能的な内部質保証システムが確立している。
- 質保証の効果的な実施と持続性確保のため、運営責任者の下で質保証システムが普及・支持されている。
- 効果的な内部質保証システムの確立・維持のために十分な資源が提供されるべきである。
- 教育機関はプログラム及び学位授与の承認、定期的なレビュー、監督のための正式な仕組みを備えるべきである。
- すべてのレベルでの継続的改善のため、質に関する定期的な監督、レビューが行われている。
- 教育機関、プログラム、実績、質保証プロセスに関する最新の情報が一般に公開されている。

第4部：国の資格枠組

- 国の資格枠組は、既習歴の認証を行うことで、学習・訓練の積み重ねを奨励している。
- 資格枠組は、生涯学習を含めた資格の認証を通じて、学生と労働力の流動性を促進している。
- 資格枠組は、学生中心の学びと学生のコンピテンシーに焦点を当てた学習成果に基づいている。
- 資格枠組は、学習経路の一貫性、透明性、柔軟性を支援している。
- 資格枠組は一般に、資格のレベル・説明を規定し、場合により単位制度に基づくものである。
- 資格枠組は、国の関連政策により支持されたものでなければならない。
- 資格枠組の開発・実施に際して、利害関係者に意見を求め、積極的に関与させなければならない。
- 資格枠組は権限を付与された組織により運用され、承認された質保証の原則・基準によって支持される。
- 資格枠組はニーズの変化や動向に対応するため、機動的に見直されるべきである。
- 資格枠組は、権限を付与されたインフォメーション・センターによって補完されるべきである。

《出典》

- ASEAN Quality Assurance Network. ASEAN Quality Assurance Framework.